

◇編集後記◇

この編集後記を書いているのは9月初旬ですが、まだまだ猛暑が続いております。皆様の体調はいかがでしょう。こう暑いと机に向かうのがおっくうになりがちです。秋にかけて投稿が減らないかとやや心配しております。

今月のトピックですが、Journal of Occupational Healthに日本産業衛生学会による許容濃度勧告の最新版が掲載されております。化学物質、騒音、高熱および寒冷ストレス、振動、電磁気、紫外線への曝露について、労働者の健康障害を防止するための基準値として推奨されているものです。詳しくはぜひ勧告をご覧ください。

さて、編集委員会のメンバーとしてこの頃感じていることを書きます。それは、「投稿論文の種別」についてです。和文誌も同様ですが英文誌を例にとりますと、Reviews, Originals, Brief reports, Case studies, Field studies, Opinions, Correspondencesとなっています。投稿規程のサイトを見ていただくと、それらの論文種別の詳細がわかるようになっております。しかしながら現実には、多くの論文が和文誌という原著に相当するOriginalsとして投稿されています。研究を行った著者としては、自分の研究結果が独創性や新奇性を持ち、原著になりうると考えるのはよくわかります。私自身も投稿側にたてば、そのような思いになるでしょう。

しかしながら正直に申しまして、Originalsとして投稿された全ての論文がOriginals、つまり原著にふさわしいというわけにはいきません。その中には、編集委員会の検討でそれ以外の種別、例えばCase studiesやField studiesがふさわしいと判断される場合も少なくありません(投稿規程からの抜粋を後述します)。その場合

は著者の方々にその旨、つまりOriginals以外の論文種別として再投稿をお願いするのですが、私たちも全ての該当する投稿においてそうした判断ができるわけではありません。時にはそのまま査読プロセスに入り、結果的に原著にはふさわしくないと結論づけられてしまうことがあります。一旦査読プロセスに入りますと、他の論文種別として検討されることはありませんので、判断はリジェクトとなってしまいます。このことは、Webベースの新投稿システムでもおそらく変わらないと思います。

です。投稿者の方々に是非お願いしたいことは、「その」論文がどの論文種別がふさわしいか、投稿時に再検討していただくことです。著者に入っていない、同僚の研究者に客観的に見てもらうこともいいでしょう。投稿者の方々が努力された結実としての論文が、適切な論文種別で評価されて掲載されることを、私どもは願っております。

投稿規程からの抜粋

Originals: Articles with new findings and original research results, research methodology, research materials and interpretation of authors' own or of other research results and articles of a similar nature.
Case studies: Reports on cases of interest to occupational health and/or cases concerning improvement in working conditions or environment.

Field studies: Reports on investigation into the status of occupational health at work places with relevant data.

(井上和男)

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：川上憲人（東京大）

副委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大）、井上和男（帝京大）、上島通浩（名古屋市立大）、
車谷典男（奈良医大）、堤 明純（産業医大）、福島哲仁（福島医大）、森本泰夫（産業医大）

有澤孝吉（徳島大）、石竹達也（久留米大）、市場正良（佐賀大）、小笹晃太郎（放射線影響研究所）、掛本知里（東京有明医療大）、川口陽子（東京医歯大）、熊谷信二（産業医大）、黒沢洋一（鳥取大）、河野公一（大阪医大）、酒井一博（労働科学研）、榊原久孝（名古屋大）、澤田晋一（独法労働安全衛生総研）、塩飽邦憲（島根大）、菅沼成文（高知大）、笠島 茂（三重大）、埴田和史（滋賀医大）、竹内 亨（鹿児島大）、田中昭代（九州大）、谷川武（愛媛大）、土井由利子（国立保健医療科学院）、中尾睦宏（帝京大）、橋本英樹（東京大）、馬場園明（九州大）、濱田篤郎（東京医大）、丸山総一郎（神戸親和女子大）、三木明子（筑波大）、村田勝敬（秋田大）、森 満（札幌医大）、森河裕子（金沢医大）、八幡勝也（産業医大）、吉田貴彦（旭川医大）、若林一郎（兵庫医大）、渡辺博且（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番